



支部だより

第99号

編集・発行

〒464-0039

名古屋市千種区日和町2-18

名古屋地方気象台内

日本気象学会中部支部

電話 052-751-5577

2025. 11. 26

目次

・ 2025年度（令和7年度）中部支部総会の報告	1
・ 2025年度（令和7年度）中部支部研究会のお知らせ	2
・ 第28回公開気象講座「最新の東海地方の気候変動 私たちの暮らしは今後どうなるの？」のお知らせ	4
・ 第29回気象サイエンスカフェin名古屋のお知らせ	5
・ 事務局からのお願い	5

■ 2025年度（令和7年度）中部支部総会の報告

日本気象学会中部支部総会が、8月26日（火）13時30分から名古屋地方気象台会議室で開催されました。開会の辞、吉松和義支部長から挨拶の後、吉村香会員を議長に選出、議事を進行しました。事務局から出席者数と委任状集計の報告があり、総会成立条件を満たすことを確認、その後、支部だより第98号に掲載された議案(1)～(5)について審議されました。

議案(1) 2024年度（令和6年度）中部支部事業報告

事務局より、支部だより(第96号、第97号)発行、第27回公開気象講座、支部研究会、気象サイエンスカフェの開催について報告があり、承認されました。

議案(2) 2024年度（令和6年度）中部支部会計報告

事務局より、2024年度の会計報告があり、承認されました。

議案(3) 2024年度（令和6年度）中部支部会計監査報告

会計監査より、2024年度の支部会計が適切に処理されている旨の報告があり、承認されました。

議案(4) 2025年度（令和7年度）中部支部事業計画案

事務局より、以下の事業計画が提案され、承認されました。

- ・支部常任理事会、支部理事会、支部総会の開催
- ・2025年度中部支部研究会の開催
- ・第28回公開気象講座の開催
- ・気象サイエンスカフェの開催
- ・支部だより(第98号、第99号)の発行

議案(5) 2025年度（令和7年度）中部支部予算案

事務局より、今年度の事業計画に基づいた予算案の提案があり、承認されました。

■ 2025 年度（令和 7 年度）日本気象学会中部支部研究会のお知らせ

中部支部研究会を、12月7日（日）～8日（月）の日程で、名古屋大学において開催します。ご興味のある会員の皆様、是非、会場にお越しください。講演要旨集(PDF電子媒体)は中部支部Web支部研究会のページ(<https://www.metsoc.jp/chubu/kenkyukai.html>)からダウンロード配布します。要旨集閲覧パスワードは、発表者と会員へ別途お知らせします。

日時: 2025 年 12 月 7 日(日) 14:30 ～ 17:35
2025 年 12 月 8 日(月) 10:00 ～ 11:30

場所: 名古屋大学東山キャンパス(名古屋市千種区不老町)
宇宙地球環境研究所 研究所共同館Ⅱ 3階ホール

交通案内: 名古屋市営地下鉄名城線名古屋大学駅2番出入口下車徒歩約15分



※大学への交通案内: <https://www.isee.nagoya-u.ac.jp/directions.html>

プログラム

12月7日（日）

1. 開会

14:30 ～ 14:35	開会挨拶	吉松 和義（中部支部長／名古屋地方気象台）
---------------	------	-----------------------

2. 発表

	時程	発表者 (所属)	タイトル
1	14:36 ～ 14:56	西野 光喜 (富山大学)	熱帯海洋上における海上気温抑制の年々変動と年代変化による変調
2	14:57 ～ 15:17	長谷川 和哉 (富山大学)	アンサンブル数値実験データを用いた令和2年7月豪雨の発生要因に関する研究
3	15:18 ～ 15:38	朝比奈 陽斗 (富山大学)	冬季日本における気温変動の周期パターン
4	15:39 ～ 15:59	宮村 拓侑 (富山大学)	単一レーダー高頻度観測に基づく3次元風速場の推定精度の検証
5	16:00 ～ 16:20	野原 奏 (富山大学)	静止気象衛星ひまわりの地球周縁部観測に基づく中層大気オゾンの定量的推定
	16:20 ～ 16:30	休 憩	
6	16:30 ～ 16:50	岩崎 利勝 (新潟県胎内市総務課防災対策室)	地方自治体所属の気象防災アドバイザーとしての取組
7	16:51 ～ 17:11	伊藤 忠 (日本気象予報士会)	山岳波による雪雲の再発達と降雪の増強の可能性について ー 2025年2月8日の三重県北部の大雪事例 ー
6	17:12 ～ 17:32	大橋 勇介 (福井地方気象台)	収束帯による短時間大雪予報則の検討と呼びかけの改善

講演時間は20分（講演17分、質疑応答3分）

12月8日（月）

	時程	発表者 (所属)	タイトル
9	10:00 ～ 10:20	加藤 慎一郎 (名古屋地方気象台)	定量的指数を用いた東アジアにおける寒気南下の診断
10	10:21 ～ 10:41	高橋 大介 (東海大学)	黒潮大蛇行によって形成された駿河湾の風場の線形トレンド
11	10:42 ～ 11:02	池戸 陽菜 (名古屋大学)	機械学習を用いた熱帯大気対流自己集合化 (Convective Self-Aggregation) 同定手法の開発
12	11:03 ～ 11:23	高瀬 邦夫 (名古屋大学減災連携研究センター)	災害事例による気象情報・防災対応の疑似体験ツール ー リアルなタイムライン ー

講演時間は20分（講演17分、質疑応答3分）

3. 講評

11:24 ～ 11:30	講評	増永 浩彦（日本気象学会中部支部理事／名古屋大学宇宙地球環境研究所）
---------------	----	------------------------------------

■ 第28回公開気象講座「最新の東海地方の気候変動 私たちの暮らしは今後どうなるの？」のお知らせ

2026年1月31日(土)に、名古屋市科学館で公開気象講座「最新の東海地方の気候変動 私たちの暮らしは今後どうなるの？」を開催します。多くの方の応募をお待ち申し上げます。

第28回 公開気象講座「最新の東海地方の気候変動 私たちの暮らしは今後どうなるの？」

日時：2026年1月31日(土)13:00～16:00(12:30開場)

場所：名古屋市科学館 生命館地下2階 サイエンスホール

プログラム

講演Ⅰ「『日本の気候変動2025』からみた気候変動の将来予測」

増田 真次 氏(気象庁東京管区気象台気候変動・海洋情報調整官)

講演Ⅱ「異常気象の未来予測？温暖化が日本狙い撃ち！なぜ？」

立花 義裕 氏(三重大学大学院生物資源学研究科教授)

募集定員：200名

参加料：名古屋市科学館の入館に観覧料が必要です。常設展観覧料は大人400円です。

申込方法：応募フォームより(<https://forms.office.com/r/xKDU0mFSTU>)、先着順です。

申込締切：募集定員に達し次第

詳しくは、以下のホームページを参照ください。

日本気象学会中部支部

<https://www.metsoc.jp/chubu/koukaikouza.html>

名古屋地方気象台の新着情報

<https://www.data.jma.go.jp/nagoya/>

※名古屋市科学館のホームページにも掲載される予定

<https://www.ncsm.city.nagoya.jp/visit/attraction/event/>

■ 第29回気象サイエンスカフェin名古屋のお知らせ

気象サイエンスカフェin名古屋を下記のとおり開催します。

日時：2026年2月22日(日)14:30～16:00

場所：名古屋市港防災センター3階 講習室

名古屋市港区港明一丁目12番20号

地下鉄名港線「港区役所」1番出口から北へ徒歩3分

講師スピーカー 三重大大学教授 立花 義裕 氏

演題「気候災害」

参加費 無料 (ペットボトル等の持ち込み可)

定員 46名(先着順)

詳しくは、1月中旬ごろ日本気象予報士会東海支部HPのサイエンスカフェのページに掲載します。

https://yoho.jp/shibu/kishou_tokai/other_act/cafe.htm

■ 事務局からのお願い

日本気象学会本部および中部支部から各種案内を電子メールにて配信しております。

ご案内が届いていらっしゃらない会員の皆様、ご面倒をお掛けしますが、

日本気象学会 会員情報変更ページから、最新の電子メールアドレスのご登録をお願いいたします。